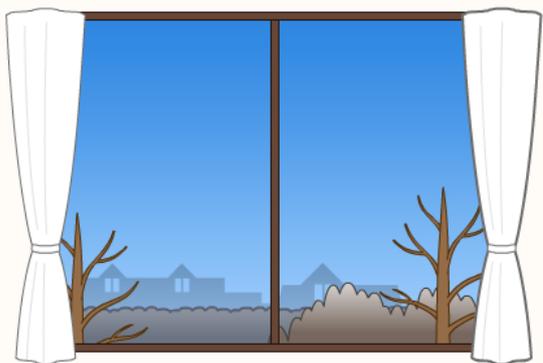


八雲砕石協同組合・函館

▽全道的に初雪の洗礼を受けて本格的な冬の到来に成りました。と同時にコロナ感染者も増加傾向にあり、過去に類を見ない感染拡大に対して打つ手なしの感じがする今日この頃です。そんな私も10日の夜から仲間入りをさせて頂き、7日間の養生期間から解放されました。▽10月28日誠に残念ですが、我々と共に道南地区砕石協同組合の発展のために御尽力頂いておりました八雲砕石協同組合が事業を終了致しました。誠に残念でありません。需要と供給のバランスの取りづらい職種とは言ってもこの先我々の将来的展望に一石が投じられるのを見た感じですが、今後の対応については理事会に諮りながら随時報告して参りたいと思います。また、この様な時こそお互いに助け合う互助の気持ちを持って八雲砕石様の後始末についてサポートして参りたいと考えて居ります。



一日砕協北海道地方本部・北海道砕石協同組合連合会

- ① 事務局長会議 札幌市にて10月27日開催しました。
- ② 8月24日に実施された今後の情報交換会の等の在り方等他を協議。本部会費に対しての情報共有等主な議題でしたが結果はまだ出ておりません。
- ③ 砕石フォーラム2022「第47回全国砕石技術大会横浜」が開催 函館支部からはNS会として3名程出席しました。

③ 本部情報について
 ・第46回理事会を基に会費規定改正案等の協議案について協議しております。此の会費の件に付きましては既に4年以上結論の出ない状況の中で本部理事の不調和音が続き本部役員事務局のリーダーシップが問われています。私案ですが、第三者機関に依頼したほうが早い気がします。

④ 宅地造成等規制法一部改正する法律に伴う関係政令の整備に関する政令案について盛土規制法許可適用除外の整理がパブリックコメントで出されました。採石業に関する特例となる案で決まったものでは有りません。資料は、事務局まで問い合わせ下さい。

⑤ JRTTとの情報交換について
 11月14日札幌にて開催されました。説明資料の必要な方は事務局まで問い合わせ下さい。

休業4日以上の災害報告

- 熊本支部 十月二十五日 男性51歳
タンポトラック乗車ステップから転落し、左足骨折
- 北海道支部 十月三日 男性60歳
タンポトラック乗車ステップから転落し、右足骨折
- 福岡支部 十月二六日 男性33歳
エッジ交換時エッジが右足指に落下し指骨折
- 茨城支部 十月三十日 男性44歳
プラント基礎台4段から落下し左足首骨折
- 栃木支部 十一月一日 男性43歳
60センチプラント下に横転し、骨盤骨折

※本年は、相変わらず滑った・転んだの事故や不安全行動の事案が全国で発生しています。北海道、特に函館は初冬という事もあり、重機の乗車時やプラント整備時の足場の確保に注意して安全対策を取ってください。

道南地区砕石協同組合・協会

① 八雲砕石協の事案について、10月28日各新聞等の報道がなされました。それを受けて佐藤専務理事と二名で檜山振興局産業振興部商工労働課と檜山森林管理署を訪問し、会員が不測の事態になった事に対してのお詫びと今後の緑化対応について組合としての責任所在について説明を参りました。と同時に渡島振興局商工労働課に対しても報告し、北海道庁森林管理局国有林採石担当課には国有林砕石協会事務局長に一連の説明とお詫びをして貰いました。

ました。本件については、乙部地区と奥尻地区の二ヶ所の採取場が有りますが、いずれにせよ工事進捗に対しても十分に協議した中で組合として次年度までに内容を精査して関係機関と協議する旨で一致しております。

② 11月02日理事会開催
 八雲砕石協の事案について10月28日の許可・地権者との協議内容について説明し、二採取場については、道南地区砕石協同組合として対応する旨を協議して頂きました。また、後日談として乙部採取場に対して様々な動きがあるようですが明確になりましたら理事会を経てご報告いたします。

注意

寒くなるこの時期体調管理の徹底を指導し、まだまだ続いているコロナ感染対策やインフルエンザ予防の対応をお願い致します。また、作業着も厚着になり狭い箇所での作業では巻き込まれや転落に繋がる事、朝夕の足場・踊り場等が滑りやすくなっております。重機等に乗車する際の注意点も指導して下さい。

